

平成28度

事業計画書

収支予算書

資金調達及び設備投資の見込み

公益財団法人 日産厚生会

平成28年度

事業計画書

公益財団法人 日産厚生会

当会の平成28年度の事業活動計画は以下のとおりである。

1. 公益目的事業の充実

当会は、公益認定を取得した翌年度に医学研究所を開設し、傘下の施設総体にて医学臨床研究の充実・深化に取り組んでいる。各施設はそれぞれの施設特性に応じた研究活動を実施しており、各々の活動成果は、学会発表や学術論文として医療界に発信されるとともに、直ちに施設での医療活動に反映され、更には地域社会活動へと展開を見せている。

(1) 各施設における医学研究の推進

- ①玉川病院においては、各研究センター（透析、気胸、ヘルニア、股関節、リハビリ）・診療部・医療技術部及び看護部それぞれにおける調査・研究活動への取り組みを推進する。
- ②佐倉厚生園病院及び佐倉ホワイエにおいては、次の方針に沿った研究への取り組みを推進する。
 - ・リハビリテーションおよび健診の有用性の調査研究の強化・充実、地域への還元
 - ・在宅医療に移行するための療養病床の在り方の研究
 - ・老健施設の活動による心の活性化の研究
- ③玉川クリニックにおいては、企業健診の充実とメタボ対策への取り組み及び鍼灸治療の科学的側面からのアプローチを行うと共に訪問診療実施に向けた検討を行う。
- ④診療所においては、健診部門では、健診データの集積と分析による予防医学的な研究や生活習慣病などの慢性疾患の患者構成、治療後の経過等の追跡調査を可能とする情報基盤づくりを、診療部門では、東京大学医学部代謝生理化学教室との協力関係のもと、数理医学の臨床分野における研究の方向を探る。
- ⑤医学研究所は、医学フォーラムを主催し、各施設からの研究成果の発表と、それらを日産厚生会全体で共有する機会を提供すると共に各施設間の交流を促進する。また、学会活動や学術論文作成の支援を継続して行なう。

研究・調査の内容については5頁以降の(別表)のとおり。

(2) 健康普及啓発活動による地域社会への貢献

地域住民への普及啓発活動として、玉川病院では、院内においては、糖尿病に関する講習会、腎臓病教室、呼吸リハビリテーション教室、看護の日(ふれあいDAY)、その他健康セミナーの開催や小冊子の配布等を引き続き積極的に実施する。また、院外活動として、玉川救急フェアでのAED講習会、地域小学校での熱中症講習会等を開催するとともに、昨年12月から毎月開催している市民公開講座を継続して実施する。

佐倉厚生園病院では、毎月恒例となった糖尿病教室や一昨年から始めた市民公開病院祭等を引き続き開催する。

2. 社会福祉への貢献

地域福祉の向上及び介護保険事業への協力

玉川病院及び佐倉厚生園病院では、近隣の社会福祉施設、介護老人保健施設との連携協力を強め、地域福祉の向上に資する。

また、佐倉厚生園病院は千葉県主催の「印旛・山武介護保険事業支援計画・老人保健福祉計画圏域連絡協議会」の委員病院として参画し、印旛・山武圏域における介護保険事業支援計画及び老人保健福祉計画の作成・推進に資すると共に、佐倉市介護保険相談員派遣事業の受け入れ施設として、千葉県及び佐倉市と連携協力を図る。

3. 各種教育・人材育成の推進

(1) 臨床研修医の受入れ

玉川病院は基幹型及び協力型臨床研修病院として、佐倉厚生園病院は研修協力施設として、各々研修医の受け入れ、指導を行う。

(2) その他医療・介護関連の実習指導

玉川病院及び佐倉厚生園病院等においては、医療、看護、リハビリ（PT・OT・ST）、臨床検査、栄養、薬剤、メディカル・ソーシャル・ワーカー、介護福祉、医療事務等の学生に対し、実習指導や講師の派遣を行う。

4. 主要施設の医療活動・設備等について

(1) 医療活動

各施設共に、引き続き次の項目に取り組む。

- ・医療の質の向上
- ・医療安全管理体制の強化
- ・医療療養環境の整備及び環境衛生保護の徹底

(2) 当年度の想定患者数、健診者数は4頁の(参考)のとおり。

(3) 機器・設備の整備等

(玉川病院)

- ①MRI装置を更新し、診断能力の向上を図る。
- ②血液浄化装置を更新し、装置の品質保持及び安全性を確保する。
- ③受変電設備の改修を行い、緊急時の停電に備える。
- ④前年に引続き駐車場舗装工事を実施し、患者の利便性を図る。
- ⑤手術室系統空調設備や温水管の更新により、診療及び療養環境の向上を図る。

(佐倉厚生園病院)

- ①本館外壁等大規模修繕工事を実施し、診療及び療養環境の向上を図る。
- ②患者の利便性及び業務の効率化の観点より、オーダーリングシステムの導入を検討する。
- ③診療報酬データ提出対応ソフトを導入し、医療事務業務の効率化を図る。
- ④情報共有支援ソフトの導入展開を図り院内情報共有の効率化を推進する。

(玉川クリニック)

- ①タニタの健康システムを導入し、運動療法・食事療法による肥満、生活習慣病の制圧をめざす取り組みを開始予定。(高島屋社員対象)

(佐倉ホワイエ)

- ①デイケア送迎車を更新し、患者の利便性を図る。
- ②外壁等大規模修繕工事の検討。

(診療所)

- ①健診データ処理システムの追加ソフトを導入し、受診者データ管理の充実を図る。
- ②骨塩量測定装置を更新し、検査内容の充実を図る。
- ③JDL経理システムを更新し、事務業務の効率化を図る。

以上

(参考)

想定患者数、健診者数等

(1) 入院患者数 (単位:人)

種 別	玉 川 病 院			
	H28年度予算		H27年度見込	一日平均 の増減
	延人員	一日平均	一日平均	
一 般	92,527	253.5	239.6	13.9
回復期リハ	13,140	36.0	34.8	1.2
地域包括ケア	13,140	36.0	35.3	0.7
計	118,807	325.5	309.7	15.8
H27年度見込	113,344			
対前年度	105%			

(単位:人)

種 別	佐 倉 厚 生 園 病 院			
	H28年度予算		H27年度見込	一日平均 の増減
	延人員	一日平均	一日平均	
回復期リハ	14,782	40.5	38.2	2.3
医療療養	44,530	122.0	121.5	0.5
計	59,312	162.5	159.7	2.8
H27年度見込	58,484			
対前年度	101%			

(2) 外来患者数 (単位:人)

科 別	玉川病院		佐倉厚生園病院		診療所		玉川クリニック	
	延人員	一日平均	延人員	一日平均	延人員	一日平均	延人員	一日平均
H28年度予算	203,715	693.0	17,287	59.0	19,390	80.0	27,424	99.6
H27年度見込	193,717	659.0	17,316	58.9	19,199	78.3	27,259	99.1
対前年度	105%	34.0	100%	0.1	101%	1.7	101%	0.5

(3) 健診者数 (単位:人)

種 別	玉川病院	佐倉厚生園病院	診療所	玉川クリニック	合 計
	延人員	延人員	延人員	延人員	延人員
各種健診	6,411	6,592	20,015	3,490	36,508
人間ドック	572	2,784	1,190	210	4,756
計	6,983	9,376	21,205	3,700	41,264
H27年度見込	7,550	9,256	20,879	3,530	41,215
対前年度	92%	101%	102%	105%	100%

(4) 佐倉ホワイエ利用者数 (単位:人)

区 分	入所延人員	1日平均	通所延人員	1日平均
H28年度予算	28,762	78.8	12,978	42.0
H27年度見込	28,841	78.8	12,730	41.6
対前年度	100%	0.0	102%	0.4

(別表) 研究・調査

I. 玉川病院

1. 研究センター

(1) 透析センター

- ① 糖尿病合併CKD患者を含む保存期CKD患者に対する多職種による包括的指導の継続と臨床的有用性
- ② 透析患者の重症感染症発症に対するプロカルシトニン (PCT) 測定の有用性評価
- ③ 外来維持透析患者の身体・生活動作の調査とともに介入効果の検討
- ④ 透析液の清浄化およびオンラインHDFにおける臨床効果
- ⑤ 維持透析患者に合併する下肢末梢動脈病変・重症虚血肢に対するフットケアの実践とその有効性評価
- ⑥ 透析療法におけるインド共和国との技術協力について
- ⑦ 在宅透析である腹膜透析 (PD) 療法における臨床工学技士と看護師の協働について
- ⑧ 透析センターにおけるアクションカードを用いた災害対策について

(2) 気胸センター

- ① 月経随伴性気胸における骨盤子宮内膜症の影響
- ② 月経随伴性気胸における横隔膜MRI診断の検討
- ③ 希少部位子宮内膜症の包括的診断治療の確立
- ④ BHD症候群に対する胸膜カバーリング術の有効性
- ⑤ BHD症候群における皮膚病変の臨床的検討
- ⑥ BHD症候群のDNA解析と臨床的診断の検討
- ⑦ LAMに対する全胸膜カバーリング術の有効性
- ⑧ tissue linkによる肺嚢胞焼灼の有効性
- ⑨ 原発性自然気胸の術後再発における検討
- ⑩ エラスダンロス症に対する胸腔鏡手術
- ⑪ 左月経随伴性気胸例の病理学的検討
- ⑫ マルフアン症候群における気胸症例の検討
- ⑬ 男性LAMの1手術例

(3) ヘルニアセンター

- ① 鼠径ヘルニア治療のガイドライン改訂作業 治療前診断と診断方法
- ② 鼠径部ヘルニアの画像診断方法とその比較検討・分析
- ③ 病態別個別化による腹腔鏡下ヘルニア術の展開
- ④ 腹腔鏡下ヘルニア修復術を通じたヘルニア病態の解明
- ⑤ 人工物 (メッシュ) を使用しない腹腔鏡下修復術の研究と確立
- ⑥ De novo型ヘルニアの病態と治療法の工夫
- ⑦ TAPPにおけるマーキング法の展開
- ⑧ 再発ヘルニアの治療法の工夫

(4) 股関節センター

- ① 変形性股関節症に対する新しい人工関節治療法の研究の継続
- ② 赤外線ナビゲーションシステムを用いた小侵襲人工股関節手術の検討と確立
- ③ 光学式三次元仮想空間認識 (Virtual reality ; AR) を応用した手術の多施設臨床応用
- ④ 関節温存療法としての寛骨臼回転骨切り術、大腿骨外反骨切り術、Chiaribone盤骨切り術適応の確立
- ⑤ 股関節唇損傷と股関節症の因果関係の検討 (MRIによる)
- ⑥ 新手術 (先進医療) をさらに発展させた人工関節手術法の開発と確立
- ⑦ 日本人の大腿骨髄腔形態に適応した新しい人工股関節の臨床使用と経過観察
- ⑧ 人工股関節置換術後長期予後予測シミュレーションシステムの一般化と検証
- ⑨ 当科における周術期自己血・回収血輸血有用性の検討と課題の探索
- ⑩ 変形性股関節症の発症メカニズムの解明
- ⑪ 人工股関節再置換術手術手技における適応と術式決定法の確立
- ⑫ 周術期SSI発生低減化に向けての検討
- ⑬ 大腿骨近位部骨折治療法の確立と術後有害因子の検討

(5) リハビリテーションセンター

- ① 歩行同調型自立支援ロボット装置(Honda歩行アシスト、東工大 Walk-Mate)を用いた整形外科疾患、脳神経疾患後遺症のリハビリへの応用とその改善について検討
- ② 頸頭蓋直流電気刺激を用いた高次脳機能障害(半側空間無視、失語症)の改善に関する検討
- ③ 新しい刺激シーケンスを用いた反復頸頭蓋磁気刺激による脳卒中後片麻痺の改善に関する検討とその改善機構の解明
- ④ 反復頸頭蓋磁気刺激によるパーキンソン病の運動機能の改善に関する検討
- ⑤ 痙縮に対するボトックス治療での効果の検討
- ⑥ タブレットを用いた失語症自習プログラム開発とその効率的活用に関する検討

2. 診療部

(1) 循環器内科

- ① 奇異性脳塞栓の発症機序とリスク因子の検討
- ② 心房細動を有する経皮的冠動脈形成術施行患者の多剤併用抗血栓療法に関して、適正な投与期間と薬剤数についての検討
- ③ 睡眠時無呼吸症候群の内皮機能に関する研究(FMDによる検討)
- ④ β ブロッカー貼付剤ビソノテープによる心房細動患者の心拍数コントロール効果についての検討
- ⑤ 神経調節性失神患者の発症機序解明についての研究
- ⑥ 致死性不整脈の発症リスクについての検討(心室遅延電位、T波交互脈検査を用いて)
- ⑦ 自律神経機能の測定と心血管疾患の予防についての検討
- ⑧ 心臓自律神経機能の改善方法に関する研究

(2) 呼吸器内科

- ① 包括的呼吸療法からみたりハビリテーション介入、栄養療法介入、薬剤指導介入の実績調査
- ② 呼吸器入院患者の身体活動量測定の研究
- ③ 呼吸器外来患者の身体活動量測定の研究
- ④ 呼吸器疾患患者の身体組成、特に下肢筋量測定の研究
- ⑤ 6分歩行試験における3軸加速度計の臨床応用の研究
呼吸リハビリテーションにおける運動強度決定に関する検討
COPDにおける検討、間質性肺炎における検討
6分歩行試験結果と生活活動レベルの関連性の検討
- ⑥ 脂肪塞栓症の診断に関する研究
- ⑦ 歩行、ゆっくり歩行、速歩、スロージョギング、ジョギング、ランニングの呼吸器学的検討

(3) 消化器内科

- ① 手術不能な悪性胆管狭窄症例に対する胆管ステント挿入による予後検討
- ② 超高齢者胆管結石症に対する内視鏡治療の検討
- ③ 難治性GERDの周辺因子・治療選択
- ④ 消化管出血の背景因子・治療経過
- ⑤ C型肝炎のインターフェロンフリー経口2剤療法の検討
- ⑥ 当院での炎症性腸疾患の治療成績

(4) 糖尿病内科

- ① SGLT2疎外薬の当院での使用成績
- ② 夏場に腎機能が悪化する糖尿病患者の特徴

(5) 脳神経内科

- ① 高齢発症てんかんにおける高次脳機能障害に関する検討
- ② 脳梗塞部位とその症状である失語症の重症度・病型に関する検討

(6) 一般・消化器外科

[一般・消化器外科]

- ① 併存疾患を多く有する高齢者の消化器外科手術においては周術期合併症も増加している。併存疾患など患者背景因子と発症した合併症を詳細に検討することにより、安全確実な手術適応と周術期管理を導く。
- ② 高齢者における高度侵襲消化器外科手術後の在院日数を短くする工夫
—地域医療連携センターと共同した在宅医療へのシームレスな移行に関するチーム医療の検討—

- ③ 高齢の切除不能膵癌および胆道癌患者において予後を延長するためにチームで行う化学療法および緩和・栄養支持療法の検討
- ④ 膵頭十二指腸切除術における安全確実な膵空腸吻合の確立と実践
- ⑤ SSIのない腹腔鏡下虫垂切除術の探求、適切なドレーン管理の検討
- ⑥ 腹腔鏡シミュレーションセンターを使用した初期研修医に対する腹腔鏡下虫垂切除術の教育
- ⑦ 外科医、麻酔科医、病棟・手術室・ICU・外来看護師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士、ケースワーカーなどの多職種からなるチーム医療連携によるERAS (Enhanced Recovery After Surgery) プロトコルをとりいれた早期退院を目指した食道癌手術の検討
- ⑧ 高度胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術において、その誤認により合併症を生じやすい。胆嚢管の分岐には解剖学的なvariationが多く、Calot三角の正確な解剖の把握のため、術前MRCP検査を行うことが重要。単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術を安全に実施するための術前MRCP検査の有効性を検討
- ⑨ 赤外線カメラシステムを使用したICG蛍光法による肝区域染色法を用いた系統的肝切除術の検討
- ⑩ 下肢静脈瘤に対する低侵襲性レーザー治療 (Closure RFGジェネレーター治療) の実践と治療結果の検討
- ⑪ 消化管の縫合不全をゼロにするための工夫
赤外線カメラシステムを使用して消化管吻合部位の血流を測定することの意義を検討
低位前方切除術における経肛門ドレーン留置の有効性を検討

[乳腺外科]

- ① 遺伝子解析研究による乳がん予後予測因子・治療効果予後因子を探求する
Stathmin1およびSurvivin遺伝子による解析
- ② 遺伝性乳がん・卵巣がん症候群における遺伝カウンセリングの受診行動に関する研究
～アンケート調査（一次調査）の実施～

(7)脳神経外科

- ① コンピュータ画像誘導による低侵襲手術の検討と確立
- ② 脳神経外科手術におけるトラクトグラフィの応用と検討
- ③ 術中ICG (インドシアニンググリーン) 脳血管造影による脳血管病変の検討
- ④ 重症脳梗塞患者に対する減圧術の工夫と検討
- ⑤ 脳内および脳室内血腫除去に対する硬性神経内視鏡の利用と検討
- ⑥ 脳動脈瘤手術における特殊T型クリップの応用と検討
- ⑦ 血管性病変の手術におけるマイクロ超音波血流計の利用と検討
- ⑧ 水頭症手術における、シャントシステムの比較検討
(Codman:Medos system, Medtronic Strata II valve system, B.Braun: Miethke proGAV system)
- ⑨ 正常圧水頭症におけるVSRADの応用
- ⑩ 認知症鑑別に有用な画像検査の検討

(8)整形外科

- ① 高齢者の合併症の検討（種類、頻度、予防、診断、治療）
- ② 脊椎圧迫骨折のMRIの時期における信号の変化について
- ③ 脊椎手術の治療成績の検討

(9)皮膚科

- ① 皮膚疾患における光線療法の有効な治療方法の確立と効果の検討
- ② アトピー性皮膚炎および尋常性乾癬におけるシクロスポリンの有効性の検討
- ③ 尋常性乾癬における生物製剤導入への検討
- ④ 薬疹における原因薬剤の同定と服薬指導による予防
- ⑤ 接触皮膚炎における原因物質の同定と生活指導
- ⑥ 褥瘡における創傷被覆剤、外用剤の適切な使用の検討
- ⑦ ウイルス性発疹症の適切な診断と感染防御対策の確立
- ⑧ BHD症候群における皮膚症状の病理学的および疫学的検討（気胸センターとの共同研究）
- ⑨ がん治療に使用する分子標的薬の皮膚障害に対する予防的治療の検討（外科、薬剤科との共同）
- ⑩ 人工関節置換術前の金属パッチテスト施行による金属アレルギーの予防（当院整形外科からの依頼）

(10) 泌尿器科

- ① 光選択的前立腺蒸散術の臨床成績の集積と術式改善への検討
- ② PSA高値症例に対する不必要な前立腺生検を回避するためのMRI検査の導入とその評価
- ③ 腎細胞癌の集学的治療（手術、分子標的薬、サイトカイン）の検討
- ④ 進行膀胱がんに対する膀胱温存療法の検討
- ⑤ 小切開創手術（副腎摘除術、根治的腎摘除術、根治的前立腺全摘除術）の展開

(11) 産婦人科

- ① 妊婦に対する食生活指導介入の効果について
 1. 妊婦の体格から見た効果の相違について
 2. 各栄養素の摂取量からみた効果の相違について

(12) 眼科

- ① 白内障手術における新しい核分割法とそれに関する器具の開発
- ② 網膜静脈閉塞症に対する抗VEGF療法の比較検討
- ③ 強度近視に伴う視神経乳頭外で流出するretinociliary veinと後極部渦静脈の関係

(13) 麻酔科

- ① 術中フェンタニル投与法の違いが麻酔覚醒、術後鎮痛に及ぼす影響
- ② 喫煙者と非喫煙者における術中制吐薬の有効性の検討
- ③ 高齢の手術患者における局所麻酔薬による神経ブロックの有効性の検討
- ④ 非常勤麻酔科医確保とその有効活用に関する検討
- ⑤ 医師不足地域への麻酔科医派遣協力システムの検討
- ⑥ 複数施設での麻酔科医相互補完に関する検討
- ⑦ 高齢の大腿骨頸部骨折患者の予後に影響する麻酔管理方法の検討
- ⑧ 高齢者大腿骨頸部骨折患者の深部静脈血栓発生率と麻酔管理方法の関係の検討
- ⑨ 高齢者大腿骨頸部骨折患者の手術待機期間と予後の関係の検討
- ⑩ 救急救命士気管挿管実習の患者同意取得時における説明方法と同意取得率の検討
- ⑪ 救急救命士気管挿管実習時の指導法と挿管成功率の検討

(14) 歯科

- ① 周術期における歯科的介入についての検討

3. 医療技術部

(1) 薬剤科

- ① 抗凝固薬ダビガトランの超低用量群における有効性と安全性に関する研究
- ② がん化学療法における治療強度低下因子の解析とその対策の検討
- ③ TPN使用患者と肝機能の関連性について脂肪乳剤を処方した患者と処方しなかった患者について検証する
- ④ 脂肪乳剤の投与量と投与速度について脂質代謝や微生物汚染の観点から検証する
- ⑤ 末梢静脈栄養時のトラブルとして血管痛や静脈炎が起こることがある。輸液の浸透圧、PH、滴定酸度より輸液のリスクを検証する
- ⑥ クロストリジウム・ディフィシル感染症の現在の投薬の状況、治療の効果を検証する。
その結果に基づき、軽症～中等症、重症、重症かつ複雑性、再発性の治療方針を作成、提案する。
(ICTとの共同研究)
- ⑦ 手術室における薬剤師業務に関する調査とその効果
- ⑧ 医師・薬剤師協働プロトコルの効果と問題点の検証

(2) 臨床工学科

- ① 経鼻用高流量酸素療法における流量変化とdB変化について
- ② 透析療法選択時の臨床工学技士の関わり
- ③ 酸素流量計管理方法の改善に向けた試み
- ④ AFF（アンチフリフロー）クリップ付き輸液セット導入に伴う医療スタッフへの教育
- ⑤ スマートポンプ導入による医療スタッフの意識変化
- ⑥ 逐次型空気圧式マッサージ器中央管理による至適運用方法の検討
- ⑦ 搬送用人工呼吸器MONNAL T60に搭載されたハイフロー機能の有効性について
- ⑧ 患者監視装置に搭載された時計機能の検証

- ⑨ インド共和国における多人数用透析装置導入に向けた試み
- ⑩ 電動ベッドの誤操作により発生したME機器関連インシデント事例の検証

(3)臨床検査科

[生化学]

- ① 科別の生化学検査異常値の解釈と初回パニック値の見直し
- ② コスト面から見た少数依頼項目の見直し

[輸血]

- ③ 輸血製剤廃棄率の改善に向けた取り組み
- ④ 輸血後感染症検査受診率向上に向けた取り組み

[採血室]

- ⑤ 電子カルテ導入後の採血室の現状把握と改善

[血液]

- ⑥ 検査機器の取り扱い方の見直しと凝固試薬(D-dimer, FDP)の見直し

[一般]

- ⑦ 簡易キット(インフルエンザ、尿中肺炎球菌、尿中レジオネラ)の再検討

[細菌]

- ⑧ 外部に向けた検体採取・輸送・保存に関する医療スタッフへの教育

[生理]

- ⑨ 検査手技、結果解釈の統一に関する検討

(4)リハビリテーション科

- ① 大腿骨頭の偏位と中殿筋筋萎縮が術後に及ぼす影響について
- ② 大腿骨頭前捻角と筋萎縮の視点から術後の予後予測検討
- ③ 大腿骨頸部骨折術後右患者の院内転倒リスクについて
- ④ 透析患者に対し、透析中におけるリハ実施の試み
- ⑤ 歩行アシストを用いた治療の試み
- ⑥ ボトックス治療の評価と効果
- ⑦ 回復期リハビリテーション病棟における栄養アセスメント

(5)放射線科

- ① 患者さんに優しい検査方法の検討
- ② X線撮影における被曝低減の検討
- ③ 各検査におけるリスク防止の検討

4.看護部

- ① 電子カルテ導入前後の業務量調査から、業務改善効果研究
- ② PNS(パートナー・シップ・システム)方式の現状と今後の課題
- ③ クリニカルラダー合同研修の効果
- ④ 介護職のストレスセルフチェック分析
- ⑤ 外来と病棟間のリリース体制の構築 2題
- ⑥ 12時間夜勤導入時の看護者の職場環境改善効果
- ⑦ 手術前オリエンテーションの変更による効果
- ⑧ 職場パフォーマンスを向上させる対策を考察する

II. 佐倉厚生園病院

1. 診療部代謝内分泌科

- ① 動脈硬化症と糖および血清リポたんぱく質代謝の研究

2. NST委員会

- ① 慢性期療養型病棟に入院中の後期高齢者・超高齢者に対するNST介入に伴う症例研究

3. 診療技術課薬剤科

- ① 高齢者の在宅支援における退院後の服薬状況実態研究

4. 地域医療連携・医療福祉相談課

- ① 当院地域における千葉県脳卒中連携パスを利用した医療介護連携の実態研究

5. リハビリテーション科

- ① 回復期リハ退院後患者の追跡調査及び症例研究

6. 回復期リハビリテーション病棟

- ① 回復期リハ病棟における看護介入効果と自立度の相関研究

7. 退院支援室

- ① 慢性期医療の退院支援効果と症例研究

Ⅲ. 佐倉ホワイエ

老健施設の活動による心の活性化

Ⅳ. 玉川クリニック

- ① 喫煙率低下のための研究
 - 1) 禁煙外来における禁煙成功率の向上のための新たなツールの開発
 - 2) 禁煙長期継続のための禁煙外来終了後の継続的なFollow upの方法
 - 3) 事業所健診への積極的な禁煙対策の介入方法
パンフレット配布、講演会などの啓発活動など
- ② 「咳嗽」を主訴とする患者の特徴と早期診断の研究（継続）
—呼気NO検査の有用性の検討—
- ③ 生理痛、肥満に対するハリ治療の有効性の検討
- ④ 事業所健診での肥満、生活習慣病予防への取り組み
玉川高島屋社員で肥満、生活習慣病保持者を対象に、タニタの「健康システム」を用い、食事療法、運動療法の効果を検討
- ⑤ 睡眠時間とメタボリック症候群との関係
高島屋など事業所健診を対象に調査研究

Ⅴ. 診療所

- ① 健診データの集積と分析による予防医学的研究
- ② 生活習慣病をはじめとする慢性疾患の患者構成・治療後の経過などの追跡調査研究
- ③ 耳鼻咽喉科領域疾患の画像データベース・ファイリングシステムの構築による症例研究
- ④ 数理医学の臨床分野における研究

平成28年度

収 支 予 算 書

公益財団法人 日産厚生会

収支予算書(正味財産増減予算書)

平成28年4月1日から至平成29年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	190	535	△ 345	
基本財産受取利息	190	535	△ 345	
事業収益	13,085,956	13,255,430	△ 169,474	
入院収益	4,897,079	4,721,398	175,681	
室料差額収益	464,331	454,830	9,501	
入院診療収益	2,845,316	3,138,605	△ 293,289	
外来診療収益	3,320,590	3,403,433	△ 82,843	
保健予防活動収益	778,903	771,199	7,704	
その他の医業収益	186,220	162,122	24,098	
保険等査定減	△ 28,350	△ 24,330	△ 4,020	
介護老人保健事業収益	530,300	537,920	△ 7,620	
訪問看護事業収益	64,334	63,600	734	
居宅介護支援事業収益	23,043	22,193	850	
その他の事業収益	4,190	4,460	△ 270	
受取補助金等	17,261	14,555	2,706	
受取補助金	11,500	8,600	2,900	
受取補助金振替額	5,761	5,955	△ 194	
雑収益	128,554	114,655	13,899	
受取利息配当	1,069	1,205	△ 136	
従業員他給食収益	18,490	16,180	2,310	
不動産賃貸収益	81,060	73,660	7,400	
雑収益	27,935	23,610	4,325	
経常収益計	13,231,961	13,385,175	△ 153,214	

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
(2) 経常費用				
事業費	13,070,330	13,210,719	△ 140,389	
給与費	6,941,713	6,995,853	△ 54,140	
材料費	3,113,683	3,222,112	△ 108,429	
経費	860,724	913,677	△ 52,953	
委託費	1,072,783	946,492	126,291	
研究研修費	46,130	45,890	240	
減価償却費	674,551	719,995	△ 45,444	
その他費用	360,746	366,700	△ 5,954	
管理費	13,757	15,720	△ 1,963	
給与費	4,498	5,202	△ 704	
経費	9,014	9,781	△ 767	
研究研修費	50	100	△ 50	
減価償却費	195	218	△ 23	
その他費用	0	419	△ 419	
経常費用計	13,084,087	13,226,439	△ 142,352	
当期経常増減額	147,874	158,736	△ 10,862	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
その他経常外収益	2,000	1,000	1,000	
経常外収益計	2,000	1,000	1,000	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	1,900	1,920	△ 20	
その他の経常外費用	1,000	1,000	0	
経常外費用計	2,900	2,920	△ 20	
当期経常外増減額	△ 900	△ 1,920	1,020	
税引前当期一般正味財産増減額	146,974	156,816	△ 9,842	
法人税等	△ 8,338	△ 8,028	△ 310	
税引後当期一般正味財産増減額	138,636	148,788	△ 10,152	
一般正味財産期首残高	7,859,678	7,818,585	41,093	
一般正味財産期末残高	7,998,314	7,967,373	30,941	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	△ 5,761	△ 5,955	194	
当期指定正味財産増減額	△ 5,761	△ 5,955	194	
指定正味財産期首残高	16,662	14,912	1,750	
指定正味財産期末残高	10,901	8,957	1,944	
Ⅲ 正味財産期末残高	8,009,215	7,976,330	32,885	

収支予算書内訳表(正味財産増減計算書内訳表)

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引 控除	合計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益			190		190
基本財産受取利息			190		190
事業収益	9,837,528	3,248,428			13,085,956
入院収益	3,800,439	1,096,640			4,897,079
室料差額収益	362,491	101,840			464,331
入院診療収益	2,499,446	345,870			2,845,316
外来診療収益	2,987,862	332,728			3,320,590
保健予防活動収益	127,500	651,403			778,903
その他の医業収益	83,790	102,430			186,220
保険等査定減	△ 24,000	△ 4,350			△ 28,350
介護老人保健事業収益		530,300			530,300
訪問看護事業収益		64,334			64,334
居宅介護支援事業収益		23,043			23,043
その他の事業収益		4,190			4,190
受取補助金等	17,261				17,261
受取補助金	11,500				11,500
受取補助金振替額	5,761				5,761
雑収益	114,786	13,460	308		128,554
受取利息配当	656	225	188		1,069
従業員他給食収益	18,480	10			18,490
不動産賃貸収益	74,270	6,790			81,060
雑収益	21,380	6,435	120		27,935
経常収益計	9,969,575	3,261,888	498		13,231,961

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引 控除	合計
(2)経常費用					
事業費	9,877,389	3,192,941			13,070,330
給与費	4,691,675	2,250,038			6,941,713
材料費	2,964,428	149,255			3,113,683
経費	598,690	262,034			860,724
委託費	738,970	333,813			1,072,783
研究研修費	45,000	1,130			46,130
減価償却費	512,348	162,203			674,551
その他費用	326,278	34,468			360,746
管理費			13,757		13,757
給与費			4,498		4,498
経費			9,014		9,014
研究研修費			50		50
減価償却費			195		195
経常費用計	9,877,389	3,192,941	13,757		13,084,087
当期経常増減額	92,186	68,947	△ 13,259		147,874
2. 経常外増減の部					
(1)経常外収益					
その他経常外収益	2,000				2,000
経常外収益計	2,000				2,000
(2)経常外費用					
固定資産除却損	1,800	100			1,900
その他の経常外費用	1,000				1,000
経常外費用計	2,800	100			2,900
当期経常外増減額	△ 800	△ 100			△ 900
他会計振替額	27,794	△ 41,053	13,259		
税引前当期一般正味財産増減額	119,180	27,794			146,974
法人税等		△ 8,338			△ 8,338
税引後当期一般正味財産増減額	119,180	19,456			138,636
一般正味財産期首残高	4,441,468	3,054,078	364,132		7,859,678
一般正味財産期末残高	4,560,648	3,073,534	364,132		7,998,314
II 指定正味財産増減の部					
一般正味財産への振替額	△ 5,761				△ 5,761
当期指定正味財産増減額	△ 5,761				△ 5,761
指定正味財産期首残高	16,662				16,662
指定正味財産期末残高	10,901				10,901
III 正味財産期末残高	4,571,549	3,073,534	364,132		8,009,215

資金調達及び設備投資の見込み

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

1. 資金調達の見込みについて

当年度における借入予定

(1) 賞与資金等として、総額1,020百万円の短期借入を予定している。

返済期日：借入より1年以内

(2) 長期借入金の予定なし

2. 設備投資の見込みについて

各施設において次のような新規取得及び改修・更新等を予定している。

< 項目 >

< 金額(単位：百万円) >

(1) 玉川病院

① MR I 他医療用器械備品更新	269
② 受変電設備他更新	75
③ PC、エアコン更新	14
小 計	358

(2) 佐倉厚生園病院、その他

① 本館外壁等大規模修繕工事	47
② 建物設備監視・制御システム他	30
③ オーダリングシステム他	20
④ その他医療用器械更新他	30
小 計	127
合 計	485